

第33回会計検査院契約監視委員会定例会議議事概要

開催期間	令和6年1月31日(水)	
場所	Web会議開催	
出席委員氏名	委員長 松島 桂樹 (一般社団法人クラウドサービス推進機構 理事特別研究員)	
	委員 稲生 信男 (早稲田大学社会科学総合学院 教授)	
	委員 長村 彌角 (公認会計士 有限責任監査法人トーマツ パートナー)	
抽出案件	3 件	(備考) 抽出案件3件の審議のほかに、契約の状況、低入札案件の状況等について説明を行い、その後、質疑を行った。
(内訳)		
一般競争契約	2 件	
指名競争契約	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

<p>1. 令和5年度（上半期）における契約の状況等について 会計検査院側より、契約の状況、指名停止の運用状況、少額随意契約の状況等について説明を行った。</p>	
意見・質問	回答
<p>契約の状況について</p> <ul style="list-style-type: none">・一般競争入札を行ったものの応札が1者のみであったなどの契約が散見されるが、複数者を指名する指名競争入札を行うことにより競争を働かせることはできないか。	<ul style="list-style-type: none">・一般競争入札に比べると国側から業者を指名する分、競争が限定的となることなどから、工事等を除き一般的な業務を発注するに当たっては、一般競争入札によっているところである。
<p>2. 低入札案件の状況について 会計検査院側より、低入札案件の状況について説明を行った。</p>	
意見・質問	回答
<p>低入札案件の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・低入札となった主な要因は、少ない工数で履行が可能であることとされているが、工数が少ない分作業の質が落ちるといった懸念はないか。	<ul style="list-style-type: none">・落札業者は、本院及び他省庁において受注実績を有することなどから、本業務の内容について一定程度把握している。これにより作業の効率化が図られるため工数を減少させることが可能となるものであり、作業の質は確保されるものとする。

<p>3. 案件の審議 3件を審議した。審議の内容は次のとおりである。</p>	
意見・質問	回 答
<p>(1) 令和4年度会計検査院ネットワークの無線LAN化に伴う機器の賃貸借及び保守業務 (契約内容：令和5年度に実施する次期会計検査院ネットワーク構築に必要となる、フロアスイッチ、エッジスイッチ等の賃貸借及び保守を行うもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件業務は、次期会計検査院ネットワークを構築する業者が有利になるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件業務で調達する機器は、汎用的な機器を想定しており、構築業者の製品を求めているものではないことから、新規業者の参入を妨げるものではないと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった理由は何かと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響によりサプライチェーンが混乱していた時期であったことから、仕様書に定める要件を満たす製品を確実に入手することは難しいと判断し、入札を見送った者が多かったことによると推測される。
<p>(2) デジタル統括アドバイザー等業務 (契約内容：デジタル統括責任者を補佐し、情報システムの整備及び運用等に関する助言及び支援並びにセキュリティ対策に関する業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件業務は、法人との契約となっているが、個人でも企画案の応募はできるのかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で資格要件を満たすのは法人と比べてハードルが高いものの、個人でも資格要件を満たせば、応募していただくことは可能である。
<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の予算規模が想定よりも小さいことを理由に、企画案募集要領を受領したのに応募しなかった者があるとのことだが、応募を検討している者に予算規模を開示しているのか。また、次回の委員会以降は、参考資料として企画案募集要領も各委員に提示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画競争の説明書において、当該業務における予算額を示した上で、当該予算額の範囲内で企画提案していただくこととしている。また、企画案募集要領の提示については承知した。

<p>(3) 決算確認システム（ハードウェア）改修等業務（次期会計検査院ネットワーク構築対応）</p> <p>（契約内容：次期会計検査院ネットワークの構築に伴うハードウェアの設定変更等を行うことより、次期会計検査院ネットワークの環境下においても決算確認システムを継続的に運用できるようにすることを目的とする業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者参入への対応として、応札予定者が業務内容を十分に理解できるようにするために関係資料の開示を行っているとのことだが、開示の時期及び相手方はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 公告期間中に入札説明資料の受領者より関係資料の閲覧希望があれば、当該者に対して関係資料の開示を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> 予定価格の算定に当たり、積算の妥当性をどのように検証したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定価格の算定に当たり、労務費単価については公表されている価格資料等により設定している。また、工数については、本院のシステム部署が見込んだ工数であるが、落札業者が見込んだ工数と大きな差はなかった。したがって、本院が算定した予定価格は妥当であったと考える。
<p>4. その他</p>	
<p>なし</p>	